

# 稲門英語会だより

第22号  
平成26年  
10月1日

## 現役生との相互理解は？!

会長 君和田 正夫



英語会の総会(十月二十五日)が近づいてきました。恒例の年間活動報告や会計報告に加えて、今年もデフレからの脱出を目指し「豪華景品付き」ビンゴも行う予定です。景品を出せる人は幹事まで名乗り出てください。

総会の活動報告には入ってこないと思いますが、この夏に現役の学生と懇談会を開きました。

私たちは戸倉幹事長、田中副幹事長ら6人、私も参加しました。学生側は川合秀一幹事長、山本麻衣副幹事長ら5人です。OB・OGが集まると、ドラマについて結構議論になることが多いので、この際、現役の皆さんと率直な意見交換をしよう、ということとで企画したものです。

本来の議題とは無縁の話で驚いたことが二点ありましたので、まずそちらから報告しましょう。

一つは英語会の会員が三百人を超えて、このところ増加傾向だということ。野尻湖の夏合宿も宿を増やさないと収容できないんだそうです。数年前、部員が減って部費収入

も減ってしまった、と聞かされたことがあったのでびっくりです。しかもその理由が「就職活動に有利」というから二度びっくり。

昔もそうだった、と言う人もいますが、就職活動が難しくなった現状を反映しているのでしょうか。

インターネット時代になって、世界共通言語が英語に絞られたことも関係あるのでしょうか。世界の言語は六千とか七千とか言われるけれど、ほとんどが絶滅危惧種のようなメジャーなものを目指さないか、などなどです。

結論はありませんが、相互理解は結構進んだ、ということとで、一味違うドラマ作りを期待したいものです。(昭和39年卒)

もう一点は、その会員増に大学当局が「待った」をかけている、ということ。学生生活課から二百人くらいに減らせ、という声も聞こえてくるようです。

私たちの年代からすると「えっ! うそでしょ!」です。大学生活から部活を取ったらいったい何が残るのでしょうか。部室のスペースや大学からの援助へと言っても大した額ではないが背景にあるようです。

しかし、これじゃ、早稲田はダメになりますね。インターネットで「早稲田の凋落」と打ち込むと、あきれ返るほどたくさんさんのデータが出てきますが、やはり本当なんだ。そこで本来の懇親会ですが、ドラマに金がかかる、ということとはかねがね聞いてい

ました。大道具用の場所が使用制限された、輸送に金がかかる、そのためドラマセクションの3年生は毎月1万円、年間12万円を負担している。などでした。苦しい状況はよくわかりました。

しかし分かったけれど、ということとで、OBからも反論。提案がたくさん出ました。大学生の一活動に4、5百万円かかるのはおかし、もう少し工夫できないか、四大学から離れて関東英語劇大会のようなメジャーなものを目指さないか、などなどです。

結論はありますが、相互理解は結構進んだ、ということとで、一味違うドラマ作りを期待したいものです。(昭和39年卒)

## 活性化とは?

幹事長 戸倉敏夫

幹事長を仰せつかって早いもので2年になります。稲門英語会の活動にはそれまでまったく関わってこなかったせめてもの罪滅ぼしからお引き受けした次第です。

幹事との会合でしばしば出る話題は稲門英語会を活性化させるのかであります。ある幹事に言わせると、ここ30年間同じテーマを繰り返して議論してきたとのこと。

どうもこの活性化は永遠のテーマであるらしい。解のないテーマ、活性化とは何なの

だろう。

確かに学生の時にもこのテーマで何回も議論したことがあるが、そこには英語を話したいという共通の目標があったから、なんとなく活性化の議論は深めることは出来たし、また会社という組織でもどう従業員に生き活きと働いてもらえるかなどはたびたび議論しているが、これも利益をあげるといふ目的がはっきりしている中での議論であり、結論は出せる。

ということは目的、目標がはっきりしていれば、この議論が深まるということか。稲門英語会の会則第二条目的には同窓の親睦、および英語会の発展云々が謳われているのに、何で深まらないのだろう。

多分、この目的自体の会員各自の捉え方の違いから来るのではないかと、最近思い始めております。

それはそうでしょう、卒業以来それぞれ生きてきた別の人生を歩んできていますし、また今後の生き方も各人それぞれでしょう。

そう考えてみると、活性化をどうしようなどとあまり肩肘をはらず、様々の経験を重ねてきた多才な人材の集まりである会員相互を結びつける機会を提供する、現役学生に対してはある程度の金銭の援助と嫌われない程度のおせっかい、このことをきちんと途切れることなくやっていくことが、OB会の役割なのかなあと思っております。

さて皆様にとって稲門英語会の活性化とは何でしょうか。(昭和48年卒)



## 心充たす観桜会復活

小林 公子



夜桜と東京タワーが美しい観桜会。清岸院の観桜会が、平成25年4月5日を最後に終了することになった時は、かなりがっかりしました。

可憐でやさしいあの桜を、もしかしたらもう見ることができないのかしらと、多くの方々が気を落したことと思います。

ところが、うれしいことに復活されることになり、私たちは、ひとときわあの桜の美しさ、ありがたさを感じたものです。

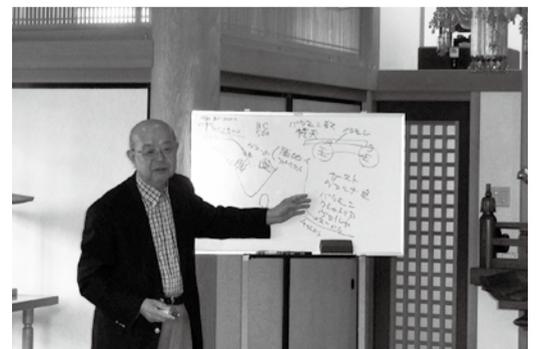
実は、清岸院の川岸高真さんと奥様の節子さんは、私が早稲田大学在学中から親しくしていたいてくださる方々です。

高真さんが大学院の二年生、節子さんと私は文学部英文科二年B組の同級生です。

た。高真さんと節子さんは、彼女が高校生の頃からお知り合いだそうです。

ある日、私たちの話題がテニスとなり、今は私の夫となつている伸夫が神宮テニスクラブの会員となつていて、コーチとしてむかえることになりました。高真さん、節子さん、惜しくも亡くなられた内田徹さんとお友達の中村さん。全員水曜日には授業は取らず、テニスの日とすることに決定です。

私たちはメンバーの父親のコネを活用し、コートを借りることにしました。プレイが



川岸さんのご講釈が楽しい!

終わったら、コートをきれいにし、ローラーをかけて約束です。それはそれは重い石のローラーでしたよ。

帰りには、いつも高真さんがお茶とお菓

子をごちそうしてくださいました。疲れた体に甘いケーキのおいしかったことと云った。そんなことを思い出しながら、高真さんにお礼を申し上げます。 「観桜会」再開、ありがとうございます。(昭和39年卒)

## 英語会は今

川合 秀一

最近の英語会は、規模が拡大し、1年生125人、2年生97人、3年生75人の早稲田大学でも最大規模のサークルとなりました。活動としては、前期はスピーチ、デイベート、HMドラマ。夏は大夏、後期はスピーチ、デイベート、四大学英語劇大会、大隈杯を行っております。3年會主体の各セクションは、全セクションが輝かしい戦績を収めております。現在は、秋葉原、城北、高円寺、目白、渋谷新宿の5HM制で、学年進級時にHMシヤツフルと呼ばれるHMの組み直しが行われます。HMシヤツフル・大夏の班決め・四大のSection決め



奥田美代子さん(S39年卒)の琵琶演奏は荘厳で厳肅(上)。フルートの演奏(右)は、一丸知子さん(昭37年卒)。写真4枚とも、撮影・古藤黎子



によって、大人数のサークルながら縦にも横にも強いサークルとなっており、四大英語会連盟での慶応、立教、一橋、津田塾大学との交流はもちろんのこと、スピーチセッションが東京大学と合同スピーチ大会を開いたり、ディベートセッションが他大と交流をしたりと、他大からの刺激を受け、交流の輪を広げています。しかし最近、早稲田大学では、サークルの活動を縮小する傾向があり、私たち英語会は大規模ということもあり、活動場所を減らされたり、人数縮小の要望を出されたり、今まで使えていたものが使えなくなったり、サークルの活動を支障なく執り行うには障害もあります。しかし、会員一人一人が満足するサークルを目指して、これからも学生生活課などと話していきたいと考えます。これからもますます繁栄していくために、会員一同邁進していきます。

# 同窓会だより

## NON-STEEL HOUR (今別れの時)

児玉 士誠

3月25日、タイガー同期の遠藤亮吉君が敗血症のために急逝した。75歳だった。

8日前の17日、自宅で高熱を出して倒れ、ヘルパーが発見、病院に搬送されていた。たまたまこの日は、一人暮らしの遠藤君を囲む同期有志の定例の食事会当日だった。インフルエンザらしい、回復は順調と聞いていたのだが、余りにも突然の訃報であった。

遠藤君とは小学校が一緒。情に厚く、温厚篤実、若くして長老の風格もあった。ゴルフは終生の好敵手。志賀君と三人で5年間通ったウクレレ教室のバンド仲間でもあった。

7月4日、遠藤君を偲ぶ同期会に19名が参加。黙祷、献杯、追悼の思い出話の中で、特別参加の福田先輩から「通夜の席で聞いたあの歌はとても良かった」と紹介があった。ウクレレ仲間の別れの席で必ず歌おうと約束した「Now is the hour」だった。再度この歌を志賀君と二人、一丸さんのフルートの伴奏で絶唱したのだった。釋亮照「冥福を心から祈ります。」(昭和37年卒)

## 英稲会 健在!

我々(昭和38年卒)は欠ける人もなく、みな健在! 6月3日新宿の中華料理店翡翠宮に24人集合。本稿も28名が一筆寄せました。

健康第一をモットーに

(大倉 肇)

我もまた百代の過客と思ふ日々也

(奥田斐規)

畑仕事やウォーキングで元気で

(河原崎勝造)

約1年以上前にイグナチオ麹町教会で洗礼を受け、本年6月に同教会で堅信式を終えました

(浅香英男)

目下 思案中はスマホを買うべきかどうか。後何年使うのか迷うのは新しいゴルフクラブ、新しい自動車です

(上田幸弘)

今年に入ってから腰痛がでて年を感じています

(有馬れい子)

70の手習い——習字を始めました

(浜本尚子)

に。草刈中、蜂に数ヶ所刺され、アナキフィラシイ症状に陥る

(泉雄次郎)

今盛夏早過ぎるかな 十五文字

(佐藤泰男)

折々の花を求めて山に登る心境になりました

(阿部 達)

世の平穩無病無事故を願う日々です

(小林洋子)

車の高齢者講習で老化確認驚きの声聞く

(内田紘二)

時の流れの速さに戸惑っています

(津田桂子)

若い時出来ず老いて楽しむギター、遅かりしか! (梶山 亨)

(高木聰行)

筑波路や稲穂の先に双耳峰

(畑 廣子)

五輪「観戦」めざし、日々切磋

(大駒 勲)

肉体の衰えと、毎日戦う今日この頃です

(島村政二郎)

老骨にむち打って治すがんこな腰痛

(栗林 寧)

テニスの技、衰えて人生を達観する

(東後勝明)

今を大切に暮らしています

(三船昌子)

東京にクマ出現! 蟬の話です

(田口隆志)

多くの友人と過ごせる時間を持つ

(坂井 馨)

てる幸せを感じています

(森美紀子)

ますます、宝石商売で多忙です

(廣江尚司)

親友を二人続けて亡くし悲しい夏

(大渡 肇)

用? は山ほどあり時間足りずの昨今です

(河原篤子)

今夏は奥入瀬に行くの楽しみで

(大渡 肇)

す

(森美紀子)

よたよたとボール追いかけるコートかな

(大渡 肇)

日本が世界で一番住みやすい国と知る海外旅行

(大渡 肇)



## 忘れ難き南相馬

安斉 洋一

CHAMP (Cross Hands Association of Mature Persons: 成熟人が手をつなぐ会)という親睦団体の仲間20人程と、7月27日から29日まで、福島県南相馬市の原町、小高地区を訪ねた。WESS同期の五十嵐さん、奥田さん、小林公子さん、私の妻も参加した。

バスで通った道の左右には「除染作業中」の旗が林立し、汚染土を入れた黒いビニール袋があちこちに積まれていた。家屋に人は住んでおらず、ゴーストタウン化した町の光景は不気味でさえあった。大地震と津波、そして、放射能汚染でふるさとが無くなり、家族は離散、今なお多くの人たちが仮設住宅での生活を余儀なくされている。

私達も仮設住宅の集会所に泊し、一人住まいの方の部屋も拝見した。江井元小高町長は「一番悲しいのは先が見えないことです」と語った。追いつめられた状況が伝わってくる。地元の方々のお世話で、一千有余年の歴史を誇る「相馬野馬追」に集う人々の熱気にも触れられたことは幸いでした。

(昭和39年卒)

## 若返る早馬会

山内 正樹

われら午(うま)年卒の「WESS早馬会」メンバー。多くが70歳を迎え、去年(平成25)11月12日に「古稀の会」を挙行した。集まったのは37人。若い者は1人もいないのは当然なわけだが、気分はすぐに早稲田の新生。病氣や年金、それに孫の自慢話などはせず。

The Gettysburg Address of レシテーション・コンテスト。米田(旧姓沖原)幹子さんが52年前そのまま見事に披露して会場はヤンヤンヤの大喝采。大いに盛り上がり、大いに若返った。

翌日は城北HMご用足しのゴルフ場で「大芋掘り大会」。九州から参加した中村らで腕を競ったがこちらの方は傑出した者はおらず。

腰痛はいるは飛距離は落ちるは「ねんりんピック」のWESS版。そういえばみなGOLF部じゃなかったもんな。

さて次回の全員会は5年後か。長生き競争で疾走するわれら早馬会。

(昭和41年卒)

## 古稀を迎えたガキの会

丸山 浩

春愁や人恋しさの人嫌い 小田島季走

5月24日「高田牧舎」にどこか不安を抱えながらも元気に古稀を迎えた30名のガキが集まりました。有志で小田島君の墓参りをし、併せて中村千恵子さんのご冥福をお祈りしました。遠方の芦屋、大阪、七尾、名取、豊川からも参加あり、欠席者からは「残念、盛会を祈る、祝! 古稀」との伝言や電報が届きました。爽やかな新緑の早稲田の杜に、来し方70年とこれからの数十年に想いを寄せながら、あつという間に楽しい一次会、二次会、三次会…の時間は過ぎてゆきました。せっかく歌詞を準備した「We Shall Overcome」を歌うことも忘れて。

双葉山が安芸の海に負けて連勝が69で止まった時、ラジオ中継をしていたNHKのアナウンサーが「やはり70古来稀なり」との名言を残しました。還暦や

## 国際研修会報告

担当幹事：昭和53年卒 平松昌雄

第56回の国際研修会は3月6日に高田馬場にあるシチズンプラザで昭和48年卒業のモルガル・スタンレーMUF G証券株式会社取締役会長の川俣喜昭さんをお招きして「MUF Gのモルガン・スタンレーへの出資と戦略的提携」と「アベノミックスの評価」の二つのテーマについてお話をいただきました。リーマンショック前後のアメリカ金融業界での生々しいお話をお伺い出来、当事者でしか知りえない情報に触れられたのは何より貴重な体験でした。

前回から形式が大きく変わっています。

1. 朝から夜への時間変更。
2. 最初に講義をお伺いしてその後、質疑応答なしの立食形式の懇親会。

となり、若い方々にも参加しやすくなったと思います。興味のある方には案内状をメールさせていただきます。

wess@kjass.netにメールをください。お待ちしております。

## ナレの会レポート

真崎 晃郎

私たち「ナレの会」という名称の由来は1970年卒のメンバーからなるため、卒業年度の70をナレと読むことでのような名称となった。何時ごろからか失念したが、大分前から年に一回か二回集まり、それぞれの近況なり時の関心事などを、報告しあいながら、酒を酌み交わしている。今年も6月28日に会合を催した。今回はいつもに比べて参加者が少なかったが、楽しい一時を持つことができた。

現役もいればリタイア組ありという世代であり、また時間の過ごし方もまちまちだが、孫の



ことが話題になると目を細めるのは共通している。このような会合を定期的に催せるのは仲間柴原氏と藤野氏両名の努力の賜物である。スケジュール、場所の手配等すべて彼らに頼っている。また、藤野氏は毎回写真係まで自主的に担当してくれている。早稲田を卒業して早45年、今年私達のホームカミングの年に当たる。その際両名にはお世話になるが、またナレの会で集まれることを楽しみにしている。

(昭和45年卒)

### 稲門英語会2014年度会計報告

(自2013.10.01 至2014.07.31)

【単位：円】

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	1,602,477	早大英語会補助金	700,000
今年度収入合計	1,810,048	事務局費(10月~7月分)	318,600
年会費*	[1,790,000]	総会・忘年会案内費他	169,346
¥10,000×6名		総会・忘年会費補填金	325,043
¥5,000×346名		稲門英語会だより印刷代	88,200
合計 352名		銀行郵便振替手数料	51,098
		会議費	39,000
寄付金	[10,000]	自動振替用紙	1,100
ゴルフ会通信事務費収入	[10,000]		
預金利息	[48]		
		<b>支出合計</b>	<b>1,692,387</b>
		次年度繰越金	1,720,138
<b>合計</b>	<b>3,412,525</b>	<b>合計</b>	<b>3,412,525</b>

(\*上記のほかに年会費の前受金が5,000円あります) 上記の通りご報告申し上げます。

会計幹事 小倉 雅博(昭和50年卒) 平松 昌雄(昭和53年卒)



WESS(S46卒)同期会 2011年2月11日 於:シズンプラザ(高田馬場)

小野 小林 猪 山川 水野  
田中 小島 高橋(渉) 石崎 松浦 鈴木(仁) 谷村  
大久保 石川 天沼 堀江 宮本 鈴木(芳) 岡田  
(田中) (中村)

一昨年2月、卒業40周年としてWESS46年同期会に19名が集った。第2学館に機動隊が導入された、いわゆる第2次早稲田闘争の中、英語会活動の継続や、レゾナデールについて、

### 卒業40周年の同期会

宮本 直人

喧々譁々議論をした頃に戻って、楽しく、旧交を温めた次第。卒業後、私自身は勤務地が海外、関西の為もあり、東京で、同期全体で集まれる機会は少なかったのですが、関西では年次を超えて交流が続いています。42年の和田さん、43年の厚地さん、44年の河井さん、46年の松浦さん、何故か皆さんゴルフの達人です。また渋谷HIMとしては45年と一緒に時折集まっています。最後に、一つ、これだけ英語学習の機会や書籍が溢れる中、海外でも恥づかしくない、品格のある、交渉力や英語力を備えた人材は、40年前と、あまり変わらない程、希少だと思います。現役諸君の一層の奮闘をお祈りします。(昭和46年卒)

### 通訳案内士

高田 一郎

同期に勧められて、よっしゃと思ったのが運の尽き、何十年振りかの受験勉強をする羽目に。数ヶ月後の試験では、地理・歴史・一般は良かったのですが、英語で及第点を採れませんでした。(お恥かし)筆記と面接を2年目で何とか滑り込んで、今年2月、同期に報告する事が出来ました。研修を受けたり、旅程管理主任者資格を取ったりして通訳案内士としてデビューしたのが今年4月。途端に舞い込んで来たのが、一昨日まで泊まり込みでやっていた某大手企業の生産設備建設現場での通訳でした。と同時に、面白い事にもう一つ別の現場通訳案件が、その日直ぐに行って欲しいとの依頼が入り、ここは新人、贅沢言う立場じゃないと一時間後に電車で現地に向って来ました。結局三日間フルでやって来ました。考えた事、通訳としてまず何より第一印象から信頼を勝ち取る事が大事。次に仲立ちする関係者の発言意図をしっかりと要約しながら伝えるか、冷静に且場を盛り上げるかが手腕の見せ所か、もっと深いかな。(昭和50年卒)

### 還暦

平松 昌雄

昭和53年卒業の我々も来年、還暦を迎えます。すでに今年迎えた者もおりますが我々もそんな年齢になってしまいました。第一次オイルショックの真ただ中で就職をし、バブル景気平成大不況と様々な事象がありました。現在長男次男が永平寺で修行中です。山岳信仰を細々

この年齢になると英語会の同期、先輩、後輩の人たちと無性に会いたくなります。昭和49年から53年まで一緒に活動した仲間と平成26年の今でも昔と変わらずに会える事が何気ない事ですが幸せと感じる今日です。この場を借りて同期の方々にお願いです。そろそろ会社のメールアドレスが使えなくなる時期だと思えます。個人メールアドレスをmasaoh@yahoo.co.jpに連絡していただけますか? またはフェイスブックの「平松昌雄」に友達連絡をお願いします。来年、ちよつと大きめの同期会を考えています。(昭和53年卒)

### 曹洞宗の寺の住職をしています

吉田(千葉)俊英

E.S.S.では三年の時はいすカッションをちよつと頑張りましたが、雀荘と居酒屋と映画館で多くの時間を過ごした早稲田時代でした。就職はたまたま国税専門官試験に受かったため、国税職員に。法学部卒だったので税法は真面目に勉強しましたが、簿記・財務諸表は苦手でした。配属は幸い資産税部門(相続贈与譲渡)でした。納税者の恨みを買いつながら一生懸命税務調査してましたが、病気で一年間税務署を休職し、その後退職しました。

### WESS出身 50代半ばの味わい

足立 洋志

卒業して30年余り、思えば早稲田の進取の精神、それにWESSでの英語とデイスカッション:この英語で論理的かつ建設的に人とコミュニケーションする力が社会に出てから大変役立ってきた。トヨタで過ごした30年、国際経済研究所での1年、そして今の三桜工業、いずれもグローバルな仕事をしている。80、90年代は北米での事業展開戦略やGMとの交渉などを本社企画部隊として、2000年代に入って現地オフィサーとしてメキシコ初の工場を立上げ、帰国後にグローバルに展開された製造拠点50社の自立化を推進する部隊を率いた。国際経済研究所では期待膨らむアフリカを研究し、三桜工業でも経営企画・事業戦略を担当する。こうしたキャリアを積めたのも進取の精神、英語とデイスカッションがあればこそ。その経験が他国の人々と一緒に何かを成し遂げる喜びを味あわせてくれた。そして、一緒に仕事をした他国の人々に尊敬の念が生まれている:50代半ばとしてはこうした味わいも悪くない。(昭和57年卒)

### 稲門英語会ゴルフ同好会



秋に第39回を迎える稲門英語会ゴルフ同好会は千葉の木更津ゴルフクラブで10月17日(金曜日)に開催される事となっています。ここ数年、毎年春・秋に埼玉県児玉ゴルフクラブにて行われていた年2回の開催地を、昨年秋には平塚富士見カントリーで行うといった様に、神奈川・千葉方面での開催を混ぜる事で、より広範囲の方々の参加が可能ないように開催場所を選んでおります。また天候にも恵まれ、私の記憶では雨天で開催を断念したという記憶がありません。先回も天気予報では雨模様ではありましたが、集合した人達の熱気が雨雲を消去してしまいました。個人的な話になりますが、昔イギリスに駐在していた折には、天候が不安定で開催時の天気予報がとても気になっていました。しかし殆どの場合においても雨風を凌ぐ準備を持って、悪天候を制するという具合で、メガネにワイパーが必要な場合でも雨天決行でした。雨もまた良しで、是非楽しんでボールを追いかけハイキングに参加願います。

ゴルフ会幹事 毛利 憲勝(昭和48年卒)

### 新嘉坡より愛をこめて

木下 達哉

シンガポール(新嘉坡)の建国記念日、自身通算7度目の8月9日を新嘉坡で再び迎えた。49年前のマレーシアからの独立から一党独裁による統治の下、経済的にも国土開発の面からも急発展を遂げたこの若い国には、日本がどこかに置き忘れた何かがあるように思う。例えば、①大々的に建国記念行事を開催・放送し、団結・家族・愛国・貢献・未来等の価値を共有する。日本では、建国記念の日の由来を知り、建国を偲んで国を愛する心を養う様は一般的だろうか。②公共の場では妊婦、身障者等に誰もが配慮し、バス等では進んで席を譲る。日本では、どうだろうか。③ほぼ、どの飲食店にも小児用のイスがある

# 2014年度 稲門英語会 年会費納入者のお名前

(2013年10月1日から2014年7月31日まで)

卒年	納入者			
昭18年	増田 亮			
22年	崔 桂月			
23年	伊東 克己			
24年	中瀬 正一			
25年	保倉 進			
26年	小安 總	*嶋田 隆		
29年	大矢 徹郎			
30年	小林 秀之			
31年	小野田淳子	川端 良治	鈴木 桂子	須藤宗一郎
	轟田 公江	中林 淑子	早川 守	松橋 功
	谷田 成雄			
32年	加藤 素夫	金光 平輝	菅原 清	田原 経三
	平野 久	望月 泰道		
33年	高嶽 春美	中田力ヨ子	廣澤 賢	百瀬 伸夫
	渡邊 五郎	*本井 孝至		
34年	新居 誠	大野 功	垣本由紀子	金井婦美子
	神山 幸一	田中マユミ	土肥 英義	長房 正儀
	中村 一栄	宮村聖一郎		
35年	石田 裕實	石田 光雄	川岸 高真	小今井 寛
	佐藤 明男	津田 節哉	富田 光彦	平林 良直
36年	伊東 照雄	尾谷 吉朗	杉山 誠昭	原田 永久
	平野 亨	福田 浩人	山下 寛二	*中澤 弘
37年	一丸 知子	川上 矩生	児玉 士誠	佐香 武彦
	佐藤 勤	志賀 隆	清水 邦秋	新保 宗男
	田島 勇	中村節子	西原 恢	林 喬
	古屋 輝彦	三留 勤	百瀬 久仁	三船 忠良
	横田 安正	渡辺 芳子	*岡田 和秀	
38年	浅香 英男	阿部 達	有馬れい子	大倉 肇
	大渡 肇	奥田 斐規	梶山 亨	河原 篤子
	田口 隆志	東後 勝明	畑 廣子	浜本 尚子
	広江 尚司	松村 央子	三船 昌子	森 美紀子
	*坂井 馨	*能正 豊	*古谷 俊爾	
39年	阿部 晟	安斉 渥子	安斉 洋一	五十嵐起世子
	一花 稔	遠藤 斌	奥田美代子	小原 雄介
	川上 京介	川崎 規子	木下 尚子	君和田正夫
	小柴慧次郎	小林 公子	小林 志郎	小林 宏
	佐藤 淳子	佐藤 龍彦	島田 昌明	関 直彦
	大道 諒輔	高橋 嗣雄	寺澤 捷	長友 亮治
	中原 正樹	西口 勇	西口 栄子	萩原 亞海
	村上 雅敏	持田登美子	本橋 輝明	森田 宏次
	吉田 忠	萬 肇	渡部 純代	
40年	浅香 夏子	北川 武	北村 泰作	坂田 幸夫
	柴 八千世	瀬戸口祥二	高梨 勝也	大工原正徳
	高島 康子	田中 久雄	内木 孝一	丹羽 康雄
	花井 正徳	深谷 易彦	古家美智子	持田五三夫
	諸井 清次	松村 誠	吉橋 和夫	米田 敦
	*渡井 弘			
41年	青木 正義	青木 亮	伊藤 久夫	粟田 秀史
	春日満喜志	上島 秀美	小泉 陽子	古藤 黎子
	佐々木一光積	坂本 宏之	鈴木 宣孝	鈴木 陸保
	爪川 章	中村 勝年	橋本 族興	福澤 節三
	本多 一枝	山内 晴子	山内 正樹	山田 信子
	米田 幹子			
42年	浅井 忠夫	池内 早苗	伊東 節績	浮貝 泰夫
	大宮 清子	大垣 嘉彦	小林 鉄治	斉藤 保
	斎藤美栄子	佐田 孝子	志岐 宏	白松 忠道
	関根 次郎	高山 陸子	内記 誠治	丸山 浩
	村越 秋男	森下 彰久	和田 吉弘	
43年	厚地 義尚	川越 昌平	菊池 紀男	岸 栄洋
	上月 孝	志岐 忍	新谷 綾子	高須 武男
	永島 正樹	保谷 謙吉	矢澤 洋一	*井東雄志郎

卒年	納入者			
44年	秋山 京子	秋葉富美子	浅井 好弘	片山 郁夫
	北代 耿士	小谷野俊夫	野田 宏一	坂 庸子
	堀江 明	三寺 昭雄	宮崎 義治	
45年	稲村 重信	大塚 良彦	岡田 良三	紅松 喬
	佐々木 茂	塩沢 三男	柴原 孝光	藤野 隆
46年	石川 幸男	植木 彰	大久保賢三	大橋 恭一
	岡田 俊雄	小林 洋一	鈴木 仁	鈴木 芳明
	宮本 直人	若月 辰夫		
47年	鏡 俊一	鏡 文子	国分 豊	齋藤 隆宗
	酒井 莊多	佐々木園子	宿谷 直樹	白根 忠広
	中西真佐裕			
48年	油田 静子	井口 敦雄	鐘築 優	川俣 喜昭
	佐藤 道政	戸倉 敏夫	橋本 良介	松岡 光一
	毛利 憲勝			
49年	平野 勝正	熊谷 伸成		
50年	伊東 克彦	小倉 雅博	片野 光裕	木原 秀佐
	小松 寿	新開 庸隆	杉村 美恵	高田 一郎
	角田千鶴子	時友 哲也	三浦 豊	
51年	梅田 和彦	栗原 成美	坂井 義昭	杉山 清
	中原 史裕	戸川 哲郎	山田 御酒	吉岡 克則
	渡辺 修哉			
52年	小久保 宏	春名 和隆	福田 正彦	依田 博
53年	菊池 桂子	坂口 肇	島田 哲夫	下島 雅幸
	平松 昌雄	*目須田善英		
54年	池田 正彦	井澗 誠	板谷 稔	大塚 正之
	柏澤由紀一	亀岡 生長	小峯 修	志道 秀晃
	田中 優行	布施 直人	吉永 昌生	
55年	有田 玲子	菊池 麻実	小塩 恭市	
56年	石山 修	大塚 博康	鴨田 成司	曾我 正博
57年	熊本 秀子	嶋田 太郎	真銅竜二郎	真銅 初子
	筒井 隆司	戸倉 幹夫	中本 尚志	萩原 卓郎
	山田 耕平			
58年	谷口 彰	栃尾 雅也	南 正人	細井 聡一
59年	川田 真	山野千鶴子		
60年	細井 美奈			
61年	尾形 和彦	*三島 拓哉		
62年	岡 晃一	中島 秀幸	三藤 智之	吉村 弘樹
63年	小林 浩樹	清水 将浩		
平元	石川 隆信	古谷 明彦		
3年	丸山 晃	渡辺 和彦		
4年	大木 崇			
5年	井上 敦子			
6年	葛岡友紀子	服部 美杉		
7年	木下 達哉	土谷 敦	山田 英明	
8年	北迫 恵子	澤 朋宏		
9年	佐藤 弘康			
10年	賀来 功生			
12年	加藤千恵子	茂垣 哲雄		
13年	大里耕太郎	工藤 知巳	富士原透吾	
15年	倉内 英明	神野 耕平	白井 亮	菅野 崇亮
17年	石垣 悟	廣野 一誠		
18年	野田賢太郎			
19年	久志本 岳	田淵 純		
22年	飯塚 洋平	伊崎 達朗	千歳 梨世	藤永 諒輔
23年	青木 真人	岩波 祐樹	中村 友紀	橋本 圭史
	目次 慧伍			
24年	萬治 慧介	守谷 裕次		

(合計352名)

・本年度より会計年度期末が9月から7月に変更になりました。  
・\*で表示した方々は昨年9月入金で、前分として入金処理いたしましたが、昨年度のリストに表記できなかったため、今回のリストに表示いたしました。

ので、育児中の家族は外食しやすい。日本は子供連れを嫌がるお店も珍しくないのでは。尤も①築3年で壁にひび割れが走る高級コンド②高級レストランの短パン・サンダル③自分の権利ばかり主張するスタッフ④上着がないと寒すぎる建屋内等々、必ずしも居心地が良いわけでもないのだが。  
(平成7年卒)



## 事務局からのお知らせ

### 《会費納入のお願い》

「稲門英語会」は皆様の会費によってすべてが運営されています。早大英語会補助、会員通信費など、会の継続のための大切な資金です。

2015年度会費の納入をお願いいたします。今年度会費をまだ納入されていない方も、ご入金をお願いいたします。年会費は五千円です。口座名義は「稲門英語会」、お手数ですが必ず卒業年次をお書きください。

#### ◆郵便振替／郵便振替口座

No. 00100-4-9538

(同封の郵便振替用紙をご利用ください)

#### ◆銀行振込／

##### ・三菱東京UFJ銀行 虎ノ門中央支店

(店番332) 普通預金口座：No. 0152412

##### ・みずほ銀行 虎ノ門支店

(店番046) 普通預金口座：No. 2283024

◇口座自動引落をご利用の方で、金融機関名・支店名・口座番号が変更になった場合は変更届をご提出ください。また、自動引落の登録をご希望の方は事務局までご連絡ください。

### \*\*\*\*\* 《総会・懇親会のご案内》

今年度の総会・懇親会は10月25日(土) 16時から開催します。

皆様お誘い合わせのうえ、是非ご出席ください。

場所：レストラン「アラスカ」

Tel.03-3503-2722

〒100-0011 千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル

(別紙に詳細)

### \*\*\*\*\* 《稲門英語会事務局HP開設》

稲門英語会事務局ホームページを開設しております。ぜひご活用ください。

URL：http://kjass.net/wess/